

福高はあなたの「みらい」を応援します！

文理科学科

みらい学 I

第2回研究交流会

「経済学」の研究成果を発表！



9月30日（金）、「みらい学 I」の第2回目の研究交流会を開催しました。

この研究交流会は、6月に開催された京都大学大学院経済学研究科の植田和弘教授の特別講義で提示された研究テーマについてパワーポイント形式を用いて実施しました。

生徒たちは8班に分かれ、約3カ月間にわたって研究を進めてきました。レベルの高い研究テーマでしたが、班で協力し、見事に研究成果としてまとめ、自分達の言葉で発表することができました。



内容的にはテーマが同じであっても発表としては全然違って、調べ方が違えば最終的には異なる結論・発表にたどりつくことがわかりました。

どのテーマも難しかったですが、発表を聞いて、それぞれのテーマについて理解を深めることができました。

今回、各班の発表を見たので、次からの発表の参考にしたいと思います。

足立 健人（福知山市立桃映中学校出身）

特別講義 第4弾

京都地方検察庁検事から「法学」について学ぶ



第4回目の「みらい学 I」特別講義を10月14日（金）に開催しました。今回は京都地方検察庁総務部長検事の金本秀文先生から、「法学」に関する「検察業務と刑事手続の基本的な流れ」というテーマについて学びました。警察官と検察官の違い、裁判・判決に至る刑事手続の流れ、裁判員制度の仕組み、被害者対策の取組など現職検事の立場から最前線の知識を教えてくださいました。



テレビでもよく見る検察が普段どんな仕事をしているのかが良くわかりました。検察というと、裁判官や弁護士と対立関係にあるというイメージがとても強く、被告人に対しては厳しい態度で攻めていくと思っていましたが、本当は被告人のこともよく考えて最も良いと思われる刑を要求していることが良く分かり、むやみに重い刑罰を要求しているわけではないのだとわかりました。 **時武 孝介（福知山市立日新中学校出**

平成23年度 文理科学科説明会 開催

多くの中学生・保護者の皆様が参加！

10月1日（土）、平成23年度文理科学科説明会を本校で開催しました。

当日は中学3年生、中学1・2年生、保護者、引率の先生方合わせて約170名の方々が参加され、文理科学科への関心の高さがうかがわれました。

説明会は3部構成で実施されました。

第1部の全体会では、坂根校長先生の挨拶のあと、在校生を代表して、1年生の時武孝介君（福知山市立日新中学校出身）と2年生の中良介君（綾部市立綾部中学校出身）が、現在の福知山高校文理科学科での生活について報告しました。



落ち着いた雰囲気での学習環境、お互い助け合える素晴らしいクラス、部活動と学習の両立の大切さなどについて自分の体験談を語りました。また、1年生の野田大貴君（福知山市立成和中学校出身）が今年の7月に行われた宿泊研修について、パワーポイントを使用して報告しました。次に本校文理科学科推進部長の足立先生が文理科学科独自の科目である「みらい学」の学習内容について紹介し、最後に文理科学科1年生（E班）が「みらい学Ⅰ」で研究した経済学に関する研究成果を発表しました。



第2部は学年別プログラムとして行われました。中学3年生は、本校教員による文理科学科の昨年度の適性検査問題（英語・数学・国語）の解説とその対策について聞き、中学1・2年生は、学校紹介ビデオを見て、海外研修旅行と福知山高校のいろいろな取組についての説明を聞きました。

第3部は再び全体会で、文理科学科生徒の学習状況や今後の入試日程についての説明を受けました。

約3時間にわたる文理科学科説明会を通して、文理科学科の教育活動を参加していただいた中学生や保護者の皆様に理解していただき、進路選択の参考になれば大変嬉しく思います。

自分の「みらい」「夢」の実現に向けて福知山高校文理科学科にチャレンジしてください！